

## 会 議 録

会議の名称	第2回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	令和7年7月31日（木）10：00～11：30
開催場所	飯塚市役所本庁舎4F 入札室
出席委員	坂無淳委員、吉岡和子委員、寺山治委員、須藤明委員、岡松美千代委員 矢野由香委員、末清淳子委員、篠崎光寛委員
欠席委員	戸畑典子委員、松本登美子委員、平嶋穂積委員、吉原文明委員 野田鹿江委員、道園亜希委員
事務局職員	男女共同参画推進課長、企画担当主査、事業係長
アドバイザー	特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所
会議内容	<p>議題</p> <p>(1) 第2次飯塚市男女共同参画後期プラン令和6年度進捗管理に対する意見への回答について</p> <p>(2) 男女共同参画に関する市民意識調査票（案）について</p> <p>(3) 女性の労働状況に関する事業所調査票(案)について</p> <p>(4) その他（報告事項）</p> <p>(1) 第2次飯塚市男女共同参画後期プラン令和6年度進捗管理に対する意見への回答について 事務局より説明</p> <p>委員</p> <p>市は同じような事業を様々な部署でされており、予算削減などの点から疑問があった。また、社会福祉協議会として高齢者支援課や社会・障がい者福祉課から事業の委託を受けているが、担当課の男女共同参画の考え方を共有できる機会があればよいと思った。</p> <p>事務局</p> <p>当課では、交流センター等が実施している講座のうち男女共同参画に寄与する講座等について共催で実施するなどの工夫は行っている。今後も工夫しながら実施していきたい。また、社会福祉協議会で受託しておられる事業について、後ほど詳細をおたずねし担当課に伝えたい。</p>

委員

137 (92) の取組について回答を受けたが、私は中学校・高校への啓発などの検討をしてほしいと尋ねた。検診については学校保健法の規定によって実施されていることは知っている。中学校や高校で全体的な学習ができるので、女性の乳がんなどの検診について必要性を啓発してほしい。

事務局

担当課には、改めて確認して伝えたい。

委員

今回、配布されたプランの進捗管理表で、基本目標別の取り組み件数が一覧表になっているが、基本目標1の国際的視野に立った男女共同参画の推進では1件となっている。他の基本目標の取組件数は13件ほどとなり非常に濃淡がある。こういった濃淡の激しいものについては、その重点目標の達成が危ういかもしいかならぬと思った。このことについて、どうお考えか。

事務局

ご意見については、第3次プランの策定の際に重点目標ごとの取り組み内容も整理をしていくことになるので、そのときに検討させていただきたい。

(2) 男女共同参画に関する市民意識調査票（案）について

事務局

<資料 2-1、2-2 により前回の調査項目（設問）から変更している部分について説明>

前回の調査項目をあまり変更してしまうと、この5年間の取り組み状況が見えないことになるので、基本的には前回の調査票を活かしながら、法律等が新たに施行された部分についての質問項目を追加して案を作成している。第2次飯塚市男女共同参画後期プランの管理指標に関わる設問については、継続して調査を行うことが必要なので、設問を継続している。その点についてご理解いただくようお願いする。

委員

意識調査が飯塚市の課題解決のための施策を考える重要な資料になると思うが、調査票20ページは多いのではないか。また、最後に年収を尋ね

ているが、この設問は男女共同参画の目的とどうつながっていくのか。

事務局

設問を絞って今の枚数になっており、ページ数を8ページ程度に減らすということは難しい。回収率を上げるために、インターネットで回答できるようにするなど工夫を行う。年収を尋ねているのは、今回困難な問題を抱える女性を支援するための法律に基づく計画を作るにあたり、経済的な問題も悩みに大きく関わってくると考えた。

委員

選択肢が多いので、選択肢を削除することで、ページ数を減らすという工夫もできると思う。

表紙の「ご記入に際してのお願い」のところで、答えにくい設問は飛ばして回答してくださいと書くこともある。次の問いから回答してもらうようにすると、そこだけは無回答になるかもしれないが、全体の回収率には影響しない。

委員

調査票の枚数を減らす工夫として、調査対象者3000人を、1000人ずつで設問を分けて聞いてはどうか。1000人ずつに分けることで設問数を少なくして、回答率を上げる方法はできないのか。

地域活動についてどれぐらい今回必要なかがわからない。減らすのであれば地域活動を削除してもよいのではないか。

事務局

調査票の設問を1000人ずつ分けるという発想がなかったので、検討したい。

地域活動については、管理指標になっているので外せない項目となっている。また、地域活動に女性がかかり参加しているにも関わらず、自治会長や、三役にはなかなか出て来ていないという現状も見えてくると考えている。

委員

年収の選択肢が細かすぎるのももう少し粗くしてはどうか。

事務局

前回調査と合わせて設定しているので、検討させていただきたい。

委員

問 7 で、「あなたは政治や行政地域の場において、企画方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか」というところだが、具体的にその少ないというのが何%ぐらいなのか判断材料があった方が答えやすいと思うので、前回調査の「30%程度の目標を掲げて取り組みを進めましたが達成できていません」という説明がある方が良いと思う。

事務局

今回削除した理由は、設問の文章を回答者が読むのに長すぎるのではないかとこのところで削除した。ご意見を踏まえて書き方を工夫したい。

委員

問 14 の DV に関する設問で、選択肢の「キ. 平手で叩かれた」と、「ク. 蹴られたり、殴られたり、物を投げつけられたりした」とある。これは同じような意味ではないか。

事務局

「ク. 蹴られたり、殴られたり、物を投げつけられたりした」は管理指標に上がっているので削除できないが、「キ. 平手で叩かれた」については検討したい。

委員

問 14 の人権に関する項目に「配偶者や恋人などから」とあるが、「恋人」という表現に「親密な関係にある相手」という表現も付け加えた方がいいと思った。リプロダクティブヘルス/ライツのところも、同様。

事務局

「恋人」という表現については、検討させていただきたい。

委員

問 3 学校教育については、管理指標にない設問だが、なぜ必要なのか。この機会に、行政の政策方向として必要性を把握したいということかと思ったが、できるだけ項目を減らした方がいいと思うので、管理指標の確認に必要な項目に絞った方がいいと思う。

問 17、「現在、悩みや困りごとがありますか」という設問が 3 つ続いている。問 18 も関係していると思うが、これも管理指標にないので、これら

の設問はなくていいと思う。

事務局

問 3 の設問は、男女共同参画に関する意識は、幼少期からの教育によって形成される部分が大いいため、学校教育の場で積極的に取り組むことが重要だと考えて追加をさせていただいた。問 17 の悩み事や困りごとの設問については、委員が言われたとおり、最終的に問 18 に繋がる設問で、困難な問題を抱える女性への支援計画を新規に策定するために必要な項目となっている。

委員

問 3 の学校教育の設問だが、学校教育以前に幼少期からの取組が大事なので、学校教育に限定しないで、「就学前の教育の場」なども入れた方がよい。

問 14 のアダルトサイトやポルノ雑誌と書いてあるが、雑誌だけでなく、アニメとか漫画とかも付け加えたらどうか。

事務局

委員の意見を踏まえて検討させていただきたい。

委員

問 23 について、「コミュニティセンターにあるサンクスを知っていますか」という設問も、問 21 のように「知っている」、「見たり聞いたりしたことがある」、「知らない」という 3 段階に揃えた方がよい。福岡県の調査では 3 段階ぐらいになっていた。

問 21 では、選択肢が法律の名称と飯塚市の取組と入っていて、全然レベルが違うものが載っている。上の方にある法律や飯塚市の取組の前に説明をいれてはどうか。飯塚市の取組を一番上に持っていてもいいのかなと思った。コからスの言葉はそれほどいらぬのではないか。

事務局

サンクスの認知度は管理指標となっているので選択肢を増やすような形で検討させていただきたい。問 21 についても、市民の方にできるだけ回答していただきやすいような工夫をしていきたい。

委員

問 9 では、1~4 を選んだ人が付問に行くようになっているが、4~6 の農

林漁業の人は付問に行かないのはどういう理由なのか。

事務局

問 9 で、「正社員、正職員」を管理職とそれ以外に分けたが、それ以外は基本的には変更していない。自営業などが付問に行かない理由について手元に資料がないので確認したい。

委員

問 14-1 と問 15-1 で、相談先について、「労働基準監督署など公的な相談窓口」と具体的に名称が書いてあるので、問 14 でも公的な相談窓口がどういふところか記載があるとわかりやすいと思った。

事務局

確認して検討させていただきたい。

委員

問 18「困難な問題を抱える女性の悩みや困りごとを解決するためにどのような環境や支援があるとよいと思いますか」という設問では、いくつでも選択肢を選べるようになっているが、これでは結果がぼやけてしまうと思うので、回答を3つまでに絞ってもいいと思う。

事務局

検討させていただきたい。

(3) 女性の労働状況に関する事業所調査票(案)について

事務局

<資料 3-1、3-2 により前回の調査項目（設問）から変更している部分について説明>

基本的には前回、令和3年1月に実施した調査票をベースにしており、調査票案の考え方は、先ほどの市民意識調査と同様である。

委員

問 33 について、この質問では、飯塚市がイクボス推進事業をやっていることを知っているかと聞いているのか、イクボス推進事業を知っているかと聞いているのか、はたまたこのイクボスを知っているのかと聞いているのかがぼやけてしまっているのかなと思った。

	<p>事務局 飯塚市では平成 30 年度からイクボス推進事業を行ってきており、認知度等を調査するため今回設問を追加させていただいた。ご指摘の部分については検討させていただきたい。</p> <p>委員 問 32 の設問では、「ハラスメントに関する相談」となっているが、付問ではセクハラになっている。これは、セクハラの相談があった事業所のみが答えると理解していいのか。</p> <p>事務局 問 32 の設問を今回「セクハラ」から「ハラスメント」に関する相談に変更したので、問 32-1 もハラスメントについて尋ねることになる。ハラスメントに修正させていただきたい。</p> <p>委員 調査の前提的な話になると思うが、選択肢を 3 つまでというところを 4 つ選んだ場合は回答としてどうなるのか。</p> <p>事務局（アドバイザー） 回答を 3 つまでとする設問に対し 4 つ選んでいたら、3 つになるようにランダムに余分なものを落とす。今回はインターネットでの回答も受け付けるが、こちらは 3 つまでしか選択できないような設定になっている。</p> <p>(4)その他（報告事項） 事務局 次回の推進委員会は 8 月 28 日（木）14 時から開催を予定している。</p> <p>質疑等なし</p>
<p>会議資料</p>	<p>&lt;当日配布&gt;</p> <p>1-1 令和 6 年度男女参画後期プラン進捗管理意見書回答</p> <p>1-2 令和 6 年度男女参画後期プラン進捗状況調査票【管理指標】意見書回答</p> <p>1-3 各取組に関する追加資料</p> <p>1-4 第 2 次飯塚市男女共同参画後期プラン 令和 6 年度進捗管理について</p>

	<p>て（総括表）</p> <p>1-5 第2次飯塚市男女共同参画後期プラン 令和6年度進捗管理説明資料（進捗評価が低評価であった取組について）</p> <p>1-6 育児中の柔軟な働き方制度等に関する実態調査 調査結果報告書概要版（福岡県）一部抜粋</p> <p>2-1 市民意識調査票</p> <p>2-2 市民意識調査票比較表</p> <p>3-1 女性の労働状況に関する事業所調査票</p> <p>3-2 女性の労働状況に関する事業所調査票比較表</p> <p>4 市民意識調査票・事業所調査票意見書（様式）</p>
公開・非公開 の別	<p>① 公開          2 一部公開          3 非公開</p> <p>（傍聴者2名）</p>
その他	